

## 令和2年度 第1回 加西市子ども・子育て会議

日時： 令和2年10月13日（火）  
15時30分～17時20分  
場所： 加西市役所1階多目的ホール

1. 開会
2. 委員の紹介
3. 教育長挨拶
4. 会長の選出
5. 議題

### （1）令和3年度認定こども園の申し込みについて

#### ○A委員

お友達から、仕事がなかなかコロナで見つからなくて、一度申請を出したら何カ月間猶予があるんだろう、コロナで、今のところ3カ月以上経っているけれど、何も言われてないという話を聞いていて、いつまでに出したらいいのかという悩みを聞いています。

#### ○事務局

現在、求職中ということで3カ月の期間に限って手続きをさせていただいています。現状としましては、その3カ月の猶予は、1年間に1度しか利用できないということであります。その方の状況は詳しくお聞きしないとわからないんですが、状況によっては継続が難しいという可能性もありますし、何らかの方法が必要になるかもしれませんので、個別にどういう対応が可能なのかご相談させていただきたいとは思っています。

#### ○A委員

無理ですって言われてしまって、園から退園っていうことになってしまうとすごく困るので、きっと相談してねって言っても多分行かないとは思いますが。そういういろいろ葛藤はみんなあると思うんです。

#### ○事務局

その方は、在園中の方で、就労で認定を受けたけど仕事を辞められたので、求職活動で3カ月という認定をもらって、その上で3カ月以上、求職活動の認定をしている状態になっているということですか。

#### ○A委員

そうです。いろいろ就活したり

とか、面接を受けたりしてるんですけど、子どもが小っちゃいから雇いませんっていうことで、ほぼ9.9割そんな感じで断られていて、でも子どもがいるとやっぱり面接とかっていう問題もある

るし、どういうふうにしたらいいんやろうって、いろんな話が出てくるんですけど、そのママが言う言葉を借りると、今の状態でないと子どもは見てもらえる家族がないので、どうにもできないので、そのままにしておこうかなという感じに今なってるみたいですけど。

○会長

窓口は決して書類上だけではない、だめ、いいよということではなくって、少し具体的な事情を受け止めて、こんな方法どうでしょうかねとか、そういう温かい配慮的な窓口でもありますよね。敷居は高くありませんので、行ってみてぶっちゃけた話の相談ということをされたらどうですかね。

○事務局

今のこの状況ですので、同じような思いの方がいらっしゃるかと思います。そういった状況もお聞かせいただいて、それから対応を考えていきたいなと思います。一応連絡していただいて、お話しさせていただければと思いますので、またよろしくお願いします。

○会長

少しその辺の事情だったらこうですかねとかって、そういう具体的なサポートの提案もされるような窓口だと思いますので。頭から市役所は冷たいからこんなもんだと思わずに、偏見持たずにちょっと近づいてみられたらどうですか。

○A委員 伝えておきます。

○B委員

先日の民生委員研修会で意見が出た話です。会社法人等の場合は、会社で証明等がいただけるんですけども、例えば、お家で介護されてる方を証明させていただいたり、家族で事業されていて、お父さんが社長の場合、お父さんの証明と民生委員の証明も要ということで、お父さんが証明書に記入されたら、民生委員が証明を記入する場所がないんですね。その上にでも書いといてくださいって言われたのですが、上にでもってという役目を民生委員はしてません。私たちはやっぱり国から委嘱された地方公務員ですので、自覚を持って、自負を持ってみんな仕事をしています。ちょっと上に書いとってという表現は、頭にちょっとかちっときているというところもあります。

それから、もう1つはその0歳児のことで、一番下の表ですが、2歳児までが、実際入れない人もいるってことです。この表は、そのことについても研修会のときに質問がありました。今のところ仕方ない、仕方ないのはしゃあないなっていうことで、研修会の後でしたので時間切れになってます。ただ、その質問された方が、研修会の後の反省会で、同じ地区なのに片方の人は入られた、でも片方の人は入れない。僕が証明したのに2人のうちの片方は入って、片方は入れない。証明した方としてはきちっとした説明がないので、納得できないと言われてました。許可される場合の何かの優先順位があるのか、そういったことだけでも言ってもらえてたら、ああ、そうだったのか、仕方ないなと思えるが。ただ、公立が無理やったら他の私立へ。例えば、お姉ちゃんは加西こども園に預けて、下の子は泉の方、私立の方へ預けて、自分は仕事にぐるっと回って下里にある職場へ行かないけない。そういうことは事実上できない。やっぱり、その町で活動している私たちにとっては、そういうできないのは仕方ないんですけども、できればこの定数で何とか考えてほしいということと、もう少しその場で聞く人が納得いく説明がほしいのと、その2点です。

#### ○会長

住民の方の立場からも利用のしやすさというか、その辺の視点をもう一度前提において窓口も対応していただきたいと。大変だと思いますけど、よろしく対応していただきたいと思います。

#### ○事務局

ご指摘いただいた点、本当に申しわけなかったと思います。また、説明につきましても保護者の方、また民生委員の皆様にもしっかりと説明させていただくようにしたいと思います。ありがとうございます。

#### ○C委員

民生委員の方と似た例ですが、兄弟でありながら別々な園に通わないといけないっていう家庭が私どもの園にも何家庭かあります。よそさんの施設にもそういう家庭がおりだと思っんです。

やはり、保護者の負担が大きいというのは、見てましても思っんです。お仕事の時間を気にしながら、また各園によって行事とか、また保護者の方々のいろいろな内容がおりだと思っんです。

私たちは、兄弟であつたら同じ園についていう思っんですが、やはりその園、その園の認可人数もあるというところもわかるんですが、そのポイント制の優先順位についていうところもやはり園にも、またその保護者の方にも、もう少し納得できるような順位で説明があれば思っんです。

保護者の方、見てましても、あつちにお姉ちゃん送って、こつちに弟を送ってっていう、おじいちゃん、おばあちゃんにも助けていただきながら、気を使われながら動いておられるってのが本当によく見えてますので、そういったところも女性が働きやすいつていうようなところも一番最初にうたわれておりましたので、そういうところも加西市としてももう少し融通を効かせていただくような選択になれば思っんですので、また1つの意見としてよろしくお願ひいたします。

#### ○会長

そういう例は、私の次男、孫が4人いるんですが、まだ0歳のときから1歳、2歳とかね。それぞれが兄弟で別々ところになつたらどうしようって非常に不安に思っておりました。結果的には、園側と行政側にもご配慮いただいて、行政と現場とがタイアップして地域の子育て環境をつくっていくという、そういったところがあるかないとでは、大分違ってくると思っんです。

私の孫たちも一緒の園で、私は勤めがありますのでサポートできてないんですが、私の妻は、毎日送り迎えしたり、もうふらふらになって夕方帰ってきますけどね。疲れたと言って。でも、それが別々のところだつたら親も、じじばばも大変なんですよ。そういったところも、人ごとではなくて、そうだなとうなずきながらお聞きしました。しっかり意見を受け止めて、温かい配慮をお願ひしたいと思っんです。

#### ○D委員

一時預かりについてちょっと意見を聞いてまして、私自身も3年前に次男を出産したときに長男を一時預かりしてもらうときにすごく苦労したことがありました。近い園とかは受け入れがなくつて、いろんなところに直接電話してくださいと言われて、直接電話して、何とかさせてもらったんですが、そういった例が未だにあるとの声をいただいています。

預ける側としては、どれだけ受け皿があるのかがわからないというのはどうなのかな、わかり

にくいなっているところがすごくあります。こども未来課の方で把握するのが難しいっていうことだったんですけど、でもその体制がどうにかならないかなっていうのがすごく当時から思っていて、改善もされてないようなので。

受け皿があるのはわかるんですが、そこがタイムリーに変わって行って、園側も行事があったりとか、その年齢とか本当細かに状況が変わるんで、把握しづらいのもわかるんですが、やっぱりそういうところで例えば、先ほどの就職活動で園に預けられないって話も、もしかしたらずっとじゃなくていいかもしれないじゃないですか、その方がね。ずっと預けてなくてもよくて、その面接のときだけ預けたいとかいうことがあった場合に、この日なら一時預かり大丈夫っていうのがわかってたら、もしかしたら一旦退所して、一時預かりでいいわって、もしかしたら金銭的にもそっちの方がよかったりとかするかもしれないんですけど、今は、そのようなご案内ができる状況ではないと思うので、預けてた方がいいのかなという結論になっていると思うんです。

なので、そういうのがタイムリーに把握できる仕組みっていうのは、ぜひご検討いただきたいなと思うので、よろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございます。今の意見もこれからきちっとした課題として位置づけて、即対応っていうことは難しいかもしれませんが、対応できるように。ほかのセクションともリンクしないといけない問題が出てくると思いますが、課題として位置づけていただけますでしょうか。

○事務局

ご指摘いただいたとおりで、未来課の方でワンストップでできるような体制をとっていききたいなと。そういった意味で、後押ししていただけるご意見いただけたと思います。来年に向けて取り組んでいきたいと思えます。

○会長

よろしく願いいたします。ご意見等ありがとうございました。

## (2) 新型コロナウイルス感染症の対策等について

○B委員

一番下の備品、資材ですが。加西こども園で分散型で30分ごとの運動会をやったんです。そのときに入り口にぱっと体温の出るのが置いてあったんですね。初めて僕も見ただけですけどね。田舎で生活してたらああ珍しいなって。そういうのは市内にみんなあるんですか。

○事務局

サーマルカメラといって、画面に写ると体温が測定できます。国から1園当たり50万円のコロナ対策の補助金が出まして、公立園ではこのカメラを購入しています。各公立こども園と学童保育園には、全てこのカメラが設置してございます。

○B委員

わかりました。

○A委員 賀茂にもありますか。

○事務局 賀茂もあります。

○A委員 見たことない。

○B委員 園で大きな行事があって、それで僕も今日初めて見たなって思いました。

○A委員

運動会のときもなかったですね。賀茂学童も息子が行ってますが、1回も見たことないですし。でも、職員室とかに置いてあれば、ちょっとわからないですけど。

○事務局 泉よつばこども園はありますよね。

○E委員 はい。玄関に置いております。

○B委員 保護者も子どもも一緒に、すすつと通ったら行けます。

○会長

そういうのがないときは、家で測って紙に何度と書いて渡すということがありますが、便利なものは使いましょう。

○F委員

賀茂幼稚園ではおたより帳があって、体温を測るページというか、プリントが貼ってあり、そこに朝の体温を書いて、ハンコを押すやり取りをやってます。

○B委員

僕もときどき送って行くんですけども、自分の体温は測ってると思うんです。ただ、そういうのを測られてない人もひょっとしたら送りの方であるかなって。常にそれを置いてもらったら、3密を避けることができるかなと。

○A委員

言ったもん勝ちというか、熱があっても連れて来られて、結構すーっと行ってしまうこともあるらしく、コロナの3密回避とか、熱があるから登園できませんとかっていう話は、正直疑ってかかって、安心できないというか、熱が昨日39度あったけれど、でも朝になったら7度何分になってました。そんな絶対朝になったら下がるものですから。それで登園しましたってなっても、やっぱり元気な子の親としては不安なので、こういうのがあれば、すごく安心っていうわけではないですけど、書いたもん勝ちにはならないのかなっていうのは、ちょっと感じたりはします。

○会長

そういう便利なものはちょっと置いといて、手軽にぱつと済む、みんながそれでわかるように。

よろしく申し上げます。姫路の医療センターに行きましても、必ず2カ所ありまして、どちらかでチェックされて、行ったときと帰るときはまた体温が違うんですね。

朝も必ず検温して、朝は大体低いんで、朝 35.1 度とかですけど、病院行きまして、びっくりしました。37.1 となるんです。高くなって。病院出るときは 36 ちよつとか。誤差はかなりあるかな。

機械によっても個性があるかなと思って、僕はいつも脇に入れるのでちよつと時間がかかりますけれど、それでまず計って、職場では、授業が始まる前には必ずピッとやって記録しないとイケないんですね。勝手に記録するんじゃないで、ピッとやって出たのを記録していくとか、何重にもチェックしていくみたいな感じですね。

それから、大学と園とではちよつと違いますけど、講義だから対面とか、我々は教室を使ったら必ず終わった後、私がですよ。使ったところ全部拭くんですよ。拭き方もあるんですね。それを保健師の方がマニュアルでこうやって拭いてくださいと。最近のデータではガラスとか壁にコロナ菌がつくと、28 時間ぐらい付いているんですね。大体 20 度ぐらいの温度だと長く付着する。これがちよつと温度が上がると時間が短くなるというんですね。そういうデータもつい最近出たんで、必ず学生が使った後、授業担当者が拭く。園では先生方がちゃんと後全部やっておられるかもしれないし、やってないところもあるかもしれないし、大学では非常にきちとやっています。

それから、今度換気をというんだけど、夏はエアコンの温度下げて 30 分に 1 回は教室の窓を開けて換気するんですね。冬は暖房つけても 1 回窓開けると冷え冷えとなりますよね。冬、換気をどうするか、これから各園で考えないとイケないなど。先生のところどうされますか。

換気は換気でするんだけど、一遍に窓を開けると雪が降るようなときは大変ですよ。夏場だとちよつとまた違う。今のいい季節とは違う、おおらかに換気できない季節もありますしね。

#### ○G委員

これから秋か冬にかけて、もう一回波が来そうな感じがするので、どうしたものかなと思ってるんですけど。暑い寒いよりは、空気の入換えのほうを優先です。思い切って 30 分に 1 回開けて頑張ろうと思うんですけど。いろんな面で、秋から冬にかけてどうなるかちよつと予測がつかないので、専門機関ももっと流行るとかいつてるところがありますし。

夏までの間は、いろんな感染予防のやり方とか、ある程度指導がありまして、問題も起きずやってきました。小さい子どもは重症化しないというところもあるんですけど、うちにはお年寄りもおりますし、この先本当に霧の中を歩いているような感じですね。

#### ○会長

これから気温が下がるとコロナ菌は長居されるんだそうです。換気してもすぐにはお逃げにならない。そうするとコロナ菌がずっとそこに居座る環境条件になったときにどうするかですね。なかなかそういった意味では、また、これからの季節を迎えるときにそれぞれご検討いただくということが大事なポイントかなと思いますのでね。

いろんな気象や季節によっても、環境によっても、違うと思いますので、そこは各園で、あるいは市としても共通のマニュアルとか、各園の事情の中での遺漏のない対応、そういったものをきちと進めておいて、子どもたちの健康、命を守るということを最優先していただきたいと思っております。これもある意味では行政の責任ではないかもしれませんが、そこまで配慮している

いろ各園の支援をしてほしいなと思っております。ぜひ、カメラは見えるところに置いておきましょう。

○H委員            どの園でも置いてありますよ。

○A委員            そうですね、一回も見たことない。置いてありますか。

○H委員

置いてあります。入口入ったところ、子どもの高さに合わせて、台とかで移動して置いているはずです。また、帰って子どもさんに聞いてください。

○E委員

コンセントが要るので、電源があるところでないと使えないので、置いてあると思います。

○H委員

部屋の明るさじゃないけど、異常に反応し過ぎて、上にハンカチかビニールか黒いカバーを普段使わないときは被せておいて、子どもが帰ってきたら自分でこう上げて、前を通りなさいって、ピッと、確認しております。

○E委員

朝、登園してきたときは職員が必ずそばについて、その前で熱を測って、異常があった場合は再度検温しておりますので、どの園も多分入り口に、玄関に置いてあるのではないかと。

賀茂の場合は、玄関に置いて、毎日子どもたちがその前を通るのかどうかちょっと詳細はわからないんですけど。

○F委員

朝行く前に検温したのを書いて、ハンコを押して、おたよりのシール帳を持って行かすんですけど、帰ってきたときに見たら、また違う横の枠に園で測ってくれたであろう検温が書いてあるので、もしかしたらそれをサーマルカメラで測られてるのかもしれないですけど、特にこのサーマルカメラについての説明等はないので、ちょっとその辺が不透明だなっていうのは正直あります。

○会長            これは全園配付。

○事務局

公立園は全園。ただ、保護者の方にその詳細な説明はされてないのかもしれませんが、そこは園に確認しないとわからないところもあります。もしその状況がわかれば、保護者の皆さんにも何らかの説明はさせていただく形になるかと思っておりますけれど。

○F委員

委員になってから、結構知ること多いんですけど、このサーマルカメラについては全く。だから、この場にいなかったら多分全然知らなかった内容なので、ちょっとびっくりしました。

○H委員 入ったのは最近ですよ。

○E委員

園では午前中1回と午後1回と必ず検温をしておりますので、それはご存じですね。

○F委員

お昼に測ったその担任の先生が書かれてるんで、ちゃんとしてくださってるんだなっていう。その検温してもらってるっていうのは、もちろんわかってるんで、それはすごくありがたいんですけど、サーマルカメラについては本当に見たことがなかったので、そうなんだって。

○H委員 1カ月も経ってません。入ってから。

○E委員

先月の終わりからぐらいに入ってきて、準備をして高さに合うようにしないといけないので。高さが合わないと体温が出ないので、子どもの背の高さがいろいろなので、一応うちの園は3歳以上の子どもたちは玄関入るときにカメラで検温します。0、1、2歳は入るところが違うので、その子どもたちは保育室に入ってから検温していきます。

○会長

冗談みたいですけど私の職場でも家にも1台あるといいよなど。家に帰る楽しみがあるといっって。きょうも元気っていって家に帰れるけどって。本当お値段との相談で家にも1台あるといいですね。若干機種によって違うけど幾らですか、1台。

○事務局 20数万ぐらいです。

○会長

高いですよ。家にも1台あるといいですね。そのうち安くなると思いますけど。今高いから。幼稚園等にだけ求めるんじゃなくて、家庭でもそういった啓発というか、きちっと予防への対策っていうのは、相手だけに求めるんじゃなくて、ご自宅においてもきちっとするっていう感覚っていうのは、それはあるとは思うんだけど意外と抜けてる場合があるかもしれませんよね。

そこはぜひ園として保護者への啓発というか、まさに連携ですよ。連携しないと園だけではきちっとやっても家に帰ると元の木阿弥で何かよくわからなくなってしまうと何の意味もありませんので、そこは大事なことでないかなと思っています。一般的にはよく園と家庭との連携っていいですよ。園だけで独り相撲で努力してもしょうがないことでありますので、連携をきちっとすることは大事な加西市としての常識だという考え方が成熟していくとうれしいなと思います。

また、各園におかれましてもよろしくどうぞお願いしたいと思っています。

### (3) 加西市立北条東こども園の民営化先の事業者の決定について

## ○ I 委員

この資料を見たときに、全く私の勉強不足もあると思うんですけども、まずこの民営化ということ自体の意味が全くわからず、そもそも今は今6年生の息子がいます、その子がちょうど年中くらいか、幼保一体化ということで国の指針で保育園と幼稚園が合体するような幼稚園という形になって、そのときもやはり保護者と幼児教育について、わりともめるじゃないですけども、方針がわからないままに合併しますという話の中で、やはり国の補助金とかいうそのあたりで、市もそういった事情もあると思うんですけども、それが本当7年ぐらい前の話で、それより後にも、また認定こども園という形で移行する。

もう今、子どもは小学生になったわけですけども、その当時でも幼児教育っていうその部分について、何かすごく翻弄された時期だったんです。でも、私の息子は公立の保育園にお世話になって、娘はちょっとご縁があって私立の保育園にお世話になったので、両方のよさというか、本当にいろんな教育っていう部分で、いろいろ体験させていただきました。資料の文章で、民営化することでこういう教育の質が向上しますというその文面自体で、まず私は正直引っかけたところがあるんです。

今日ここに来させていただいて、教育長から幼児教育の重要性っていうことをおっしゃられた。教育長がおっしゃられて、すごく安心した部分もあったんですけども、一体、この民営化って方向性というか、文面だけではただ1園だけが民営化するのか、今後、この加西全体のこども園自体が民営化されていくのか、また、公立と私立とに分かれていて、その中でも市が管轄しているわけなので、一応募集があったら子どもをこっち入れたい、あっち入れたいと親の思いがありながら、振り分けられて、私立の保育園に行きたかったのに公立へ行ったという方もいらっしゃるし、私の時代は、まだ行きたいところに行けた感じだったので、思ったような教育を受けさせたので、子どもにすごく合った、お兄ちゃんはお兄ちゃんです、公立で学んだそのつながりで、今6年生で、本当にみんなと一緒に育ってこれた子です。下の娘は私立ですけども、いろんな体験をしたのでグローバルまではいきませんが、すごく発想が本当にいろいろ豊かになったので、親としては選べた時代という教育を受けた者としては、すごくいい時代だったように思えます。

今後、民営化されることで方向性がどうなるのかなと、親が選んでいくのか、それともそれぞれの園で民営化っていうことは切磋琢磨して、それぞれの園が個性を出していく、それを親が選ぶ。でも、そこに例えば、今は無料で教育が受けれてますが、そこに園で値段が違ってくると、そこに格差が。豊かな家はそういった思った教育の園に入れる。でも、ちょっと金銭面で厳しかったら近くのところへ行くという感じになると、教育の格差が出てきて、教育長がおっしゃられたその幼児教育自体のベースをつくる時点で、もう差ができてくるんじゃないかなって、この文章見たときにすごく懸念した次第です。

ずっと、この7年間とか見てきて、市の教育の方針っていうのが、なんか地区が、すごく国の制度によって振り回されてるんじゃないかと保護者としては感じるところです。いろいろな質問はありますけれども、文書もらただけでちょっと私では把握できなかったのも、まず今後の民営化のそのスパンというか、何年、この10年をかけて加西の全こども園を民営化にしますとなるのか、もうちょっとお話しじゃないですけど1社だけ。でも、実際、今のところは協議しても1つの社会福

社法人の方だけとおっしゃったので、私が心配するのはこれが失敗やった、民営化やっぱりできんかったってなるのかなって、市としての方針っていうのが決まった状態で、この民営化のお話になってるかっていうところが、正直保護者としての不安というか、文章を読ませていただいた中でいろいろ質問、疑問が浮かび上がった次第です。

#### ○会長

ちょっとそれに答えていただいて、グランドデザインがどうかっていうところですよ。そこのご質問と民営化することによって保育ニーズがきちっと対応できて、その質の保障や効果ということですが、その前に私の方から、ご承知だと思うんですが、例えば幼稚園は幼稚園教育要領というのがあります。保育所には保育所保育指針っていうのがあります。いずれも告示です。告示というのは法律的拘束力を持ちます。公立であっても私立であっても、例えば保育園でいうと保育所保育指針に基づいて保育しますので、私立であっても公立であっても保育の質は法律的にきちっと担保されるというのが前提になってます。もし、それが担保されないようであれば認可されません。単なる個人のプライベートの園長の教条主義でやっているという印象は、これは過去には個人立の場合もあったかもしれませんが、今は民間であっても法律に基づいて教育内容のスタンダードっていうもの全部決めています。

A園とB園とで大きな差があるという前提はないというのは法律上はですね。もし、差があるとしたら基本を維持しながら、その園のよさをどう見える化するかというところで、いい園、そうでない園という印象はあるかもしれませんが、子どもたちの保育の質を保障するという点においては、法律によって保育所保育指針、幼稚園教育要領において、小学校、中学校とも学習指導要領あります。だから、北条小学校行っても、宇仁小学校行ってもいいんです。これは学習指導要領でも前文に全国的教育水準を維持、確保するために学習指導要領はあるんだと。幼稚園教育もそうですよ。保育所保育指針もそういう考え方です。ですから、公立だからいい、民営化すると質が落ちるじゃないけど、そういうことは前提にはありませんので。その上で、それぞれの縛りの緩やかさをどのように特色として持っていくかというところが、子どもたちにふさわしい生活をどこまで提供できるかが、保育企業努力というのがあるんじゃないかなと思います。ちょっと大きな前提で、あとグランドデザインとか等ご質問あったところ、事務局の方から答えてみてください。

#### ○事務局

本当に大きなテーマなので、この資料だけで全てお話できないところもありますが、市の将来的な公立と私立の園の配置を考えていく中で、現在、公立5園ありますが、もう少し公立園を民営化に持っていこうという計画を持っています。ただ、それは最終的にどうなるかっていうところについては、まだ正式に決まったものはないです。例えば、北条ならの実こども園とか泉よつばこども園といった大きな園については公立で残していきながら、あとの園については民営化とかそういった方向が考えられるかどうかっていうのは、これから検討していく段階だと思っております。

なぜ、全体像を決めて順次進めていかないのかということなんですけれども、北条東こども園、それから賀茂、ほかの園もそうなんです、地域によって園の規模も違います。必ずしも北条東こども園と同じやり方で他の園も同じことができるかというのは、全くそうではないと思っております。北条東こども園の民営化は加西市にとっても初めての試みですし、もちろん私立園にしてみ

も、保護者の方にとっても初めての体験になります。特に保護者は不安を抱えていらっしゃると思います。そこを市と園がいかに安心していただいて、これまでと変わらない、それ以上によくなるんだよということを説明できるようにしていくことが必要だと思います。そこは丁寧に話し合いを進めていきたいと思います。この北条東こども園がしっかりできていないのに、次のところに話ができないと思ってます。ここをしっかりとやり遂げることができて、初めて他の園についても検討するということが可能だと思いますので、事務局として慎重に進めていきたいと思っております。

さまざまなご心配もあります。民営化によって特別支援の保育ができないとか、あるいは教材費とか負担が増えるとか、制服が高くなるとか、そんなことがないように保護者と市と事業者と話し合いながら、納得しながら進めていきたいと思っております。いろいろな不安を解消していこうと、それを第一に心掛けていきたいと今、考えております。まだ具体的などころはこれからです。

#### ○会長

財政的なことは私も十分承知してませんが、私立の幼稚園でも公費がほとんどなんです。公立は100%ですけど、私立もかなりの費用が公費、助成でやっています。100%保護者からいただいて、やってるわけではないので、私立でも相当な公費、助成がなされています。私も今私立の大学に勤務していますが、100%学生の授業料で賄っているわけではなくって、国からの助成が、何億とあるわけですよ。だから、学生に言うんです。私の給料は皆さん方が納めた授業料とで支払っているのではなく、ほとんど国からの助成で払われてます。だから、学生さんが私を雇っているんだという意識を持たないでください。そこは勘違いしないでくださいよ。私立だから100%自前でやってるわけではないという。それはなぜかっていうと、先ほど言いましたように幼稚園教育要領とか保育所保育指針とか、私立の小学校でも学習指導要領に基づいて学習してるんですね。

日本は学校によって学習指導要領が違うわけではなくって、幼稚園によって幼稚園教育要領違うわけではなくって、保育所によって保育所保育指針が違うわけでもない。全部全国一緒なんです。

どんな小さな島で保育を受けても、東京で受けても、京都で受けても、ある水準は全部担保するという前提なんです。だから、例えば小学校で教科書がありますでしょう。あれもいろいろ議論があるところでもありますけれども、幾つかの採択種類がありますけれども、どこの教科書でも同じなんです。学習指導要領に基づいて教科書がつけられていますので、特定のA学園が使ってる教科書ということではありませんので。あと若干、保護者の方に材料費とかあるかもしれませんが、教育の質、保育の質保障っていうのは日本はきちっと整えています。

例えば、アメリカなんかは州によって違いますので、園によってもものすごい格差、その辺は教育長が情報をよくご存じだと思うんですけど。学校によって雲泥の差がありますからね。日本は国立であろうと公立であろうと私立であろうと格差はないという前提ができていますので、日本の教育政策、保育政策っていうのは、非常に諸外国からもうらやましいなというふうに言われているところはそこにあると思います。

○I委員           一つお聞きしていいですか。昔幼稚園と保育園って管轄が違ってましたよね。

○会長           今も違います。

○I委員

違いますよね。会長のおっしゃってる幼児教育と保育っていう部分で、詳しくは私もわからないですけども、日本は一律化してるとおっしゃったんですけども、それっていうのは幼保一体型って国が言い出してから、そういう方針っていうのは変わったんでしょうか。

#### ○会長

例えば、認定こども園の教育、保育要領っていうのがあります。内閣府が管轄してますけども、だから3つある、幼稚園教育要領と保育所保育指針、一見違うようだけど内容は、例えば3つの資質能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい中の子どもたちの学力とか力、これは幼稚園教育要領も保育所保育指針も内閣府の認定こども園の教育保育要領も全部一緒です。見事。だから、ただ保育所の場合とかは未満児がいますので、そこへの配慮として乳児保育にも保育所保育指針では重点を置く書きあらわし方がしてあります。幼稚園は乳児がいませんので、そこは割愛してあります。だから、そういう意味で幼児期の0歳から小学校就学までの全体を補完しながら、幼稚園で脇を固める部分はどこだ、認定こども園はどうだ、保育所は乳児もいるのでそこはそこできちっと脇を固めてやってます。そういった意味では全体の小学校就学するまでの乳幼児期の教育保育の資質保障というのは、日本は見事担保されてると、法律上ですね。そういう前提です。一度お渡ししてください。

○事務局                    そうですね。次回に。新しい委員の方にはお渡しさせていただきたい。

#### ○教育長

一言よろしいですか。私はプロではないのでこの世界については。ただ、1つだけお母さん方にお話しておきたいのは、私が思った以上に加西市というのは教育を大事に考えています。

ご存じのとおり市の財政が厳しいですが、教育委員会としては経済効率で教育は語らない。必ず子どもたちにとって何がいいかということを中心にモノを考えようね。これが教育委員会の見識だよと言っています。ただ、現実には市長部局が予算を立てて、いろいろやりますので、従わなきゃならないときもあれば、戦わなきゃならないときも、もちろんありますけれども、私の感じでは他市町村よりは加西市は、比率として教育にはちゃんとお金も投入しようとしてるなという感覚は今のところあるんです。教育委員会としても頑張るつもりでおりますので、力が及ばないときも多々あるとは思いますが、どうぞご理解いただいて何か意見がありましたら、どうぞ積極的に言っていてください。

じつは女性が、こういう責任ある場で発言することが、加西の場合、非常に少ないんですね。例えば、校長会に出しても全員男性です。区長会に出しても全員男性です。そこに私1人ぽつんと女性が出ます。今日こうやって、お母さん方が積極的に発言なさるの聞いていて、これは加西市がビビッドになっていく1つのすごく大事なことだなと感じています。乳幼児教育というのはやっぱりベースだな、ジェンダーギャップをなくしていく一つのベースだなとすごく勇気をいただきました。私も頑張りますので、何なりといろいろご発言いただいて一緒に頑張りたいと思います。

#### ○会長

西村市長も乳幼児期の教育、保育について非常に理解がありますので、そこも直接、私は社会教育委員してますので、首長に意見を無心することができますので、この会の雰囲気もちょっと感じとって、機会があればまた教育長ともども市長に一言言える立場にありますので、今日いただいた意

見は聞き捨てることはしませんので、きちっと議事録にもメモしていただいておりますので、ある機会にて具申していきたいと思っております。

#### ○B委員

今、言われたようにですけど、この会議、結構長い間出させてもらってます。今までは第何次の指針を決めないといけないとかちょっと専門的なこともあったりして、皆さんの意見も少なかったんです。今日初めて理解ができてるなって、私はそんなふうに思いました。

代表の方がここへ来てよかったっていう言葉を出されてたんですけども、I委員の質問もそんなんですけども、学校関係、僕もそんなんですけども、加西市がどっち向いているのか、わからない。

というのは、神戸新聞ご覧になりましたか。この民営化について出てましたですね、1週間か10日ぐらい前に。あれを今、会長が説明されたような、ずぶの素人さんが、加西市はもう園はみんな私立になるんじゃないか、私立がいいみたいやって、僕はそんなふうな感じを受けました。

だから、その対応された人を批判してるんじゃないですけども、いろんなレベルの人が、特に昔の人は携帯じゃなくて、やっぱり新聞に頼るんで、新聞はきちっとしたことを、それを見てああそうか、まだ中途半端やけども今、スタートするんだなという情報がきちっと伝わるよう、特に市は対応してもらえたら、もう少し理解ができるんじゃないかなと思いました。

#### ○教育長

加西市の幼児教育のビジョンも示せとおっしゃってるんだと、私は受け止めております。

そういうことを問題提起するということは大事なことなので。

#### ○会長

それでは、いろんなグランドデザインについても若干お答えいただいたということで、民営化は北条東が事業所が決定した。失敗は許されないと、そのいいモデルにして今後、グランドデザインについての検討をしていくことになるという回答だと思いますので。事務局、踏ん張ってください。

具体的にはG委員のところ責任重たいですけど、失敗は許されないとことですが、決意のほどを、せっかくですからご挨拶がてらご披露いただけますか。

#### ○G委員

ありがとうございます。このたび、北条東こども園の民営化の移管先として選定していただきました。会長もおっしゃいましたように、加西市の民営化の第1号ですので、やっぱり失敗は許されないなど。何とかうまく皆さんに納得していただけるように、民営化してよかったなという結果を出さないといけないと思っております。

これは私どもの法人だけでなく、加西市、それから現在の東こども園の保護者の方々とそれぞれ話し合ひまして、協議会を設置するということですけど、どんな形でやろうということも決めまして、これから1年半も時間があるということですので、この間にきちっといろんなことを話し合ひて詰めていけると思ってるんですね。普通、民営化というのはなかなか1年半も時間の余裕があるところは少ないように思います。決まりましてから、やっぱり半年ぐらいですから、加西市の場合、それだけの時間的な余裕も考えて、そして何とか第1号を成功させたいと。そういうところでこれだけの時間的な余裕もいただいているんだと思います。

この令和4年4月ですね、民営化された北条東こども園としてスタートするわけでございます。この民営化につきましては、加西市20年ぐらい前からの大きな市政のテーマでして、私ども最初から審議会の委員で関わっております。その頃から民営化というのは避けられないだろうということで、話をしてきたわけですが、20年経ってようやくそういう下準備といいますか、基礎ができて今回第1号ということでございます。

民営化については、保護者の方も不安があると思いますが、もう20年前から民営化がなぜ必要かということで話をいろんな方、公立園の方、役所の方、いろんな分野の方と話をしてきたんです。

その1つの大きなテーマとしては、この加西市の幼児教育とか保育っていう1つの教育システムとか事業ですね。こういうシステムの継続性ということ。継続して加西市もずっと積み上げてきて、小学校へつないでいくというような、あるいは幼児期独特の幼稚園教育、保育園保育というのがありますけれど、これはやっぱり続けていくためには合理性がないとできない。お金が全然足りないとか、財政が大幅に無理であるとか、赤字財政、そういうことでは継続できないですね。

意味のある非常にいい仕事をみんなしたいと思う。自分の仕事は意味があるいいことをしたい。意味のある仕事をするためにはやはり継続性が必要で、まず幾ら意味があっても継続性がなくていざ5年か10年経ったらへたってしまう。後はもうどうなるというようなことでは、将来やり手がないので、加西の保育システムの継続性を考え、ある程度の部分は民営化して行って、そして、民間と公立と一緒に力を合わせてやっていくしかないかなど。そういうのが20年前の市議会で、私どもが出した結果だと思っております。それが今回、私どもが第1号として選んでいただいたということでございます。何とか頑張りたいと思っております。

北条東こども園の民営化に当たりましては、子育てと仕事の両立ができること、それから子どもたちが幸せな子ども時代を過ごせる居心地のいい場所、そういうものをみんなで目指していきたいと思っております。子どもも居心地がよく、保護者も居心地がよく、しかも職員も居心地がいいと。みんなにとって居心地のよい、そして、一番大事なのは子どもが、幸せな子ども時代を過ごせる場所を提供であろうと考えております。私立は私立でそれぞれいいところあります。公立は公立でいいところもあります。それぞれ培ってきた、多少の家風の違いといいますか、そういうものもあるわけですが、民間公立と一緒にするわけですから、やはり私たち民間としては公立のいいところを学んでいきたい、また公立の先生も民間のいいところを学んでいきたい。お互いあまりよくないところを持っているんだったら、それはそぎ落としていきたいということで、一言でいえば、いいところどりでですね。何とか第1号の東こども園はそういった民間と公立と一緒に力を合わせて、新しい保育のシステムを継続していくために、加西市の民間、公立が合わさった新しいシステムをつかって、それを保護者の皆さんに喜んでいただくと。そういう形を目指して何とか1年半後にスタートを切りたいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○会長

私は審査の任にありませんのでちょっと気楽に言いますと、失敗は許されません。皆さんもよう聞いといてください。今日も教育長も開口一番、私もちょっと重ねましたけど、今、G委員もおっしゃってましたけども、すでにバラ色があるわけじゃなくて私の言葉でいうと、本当に乳幼児期の尊さ、そのようにつくっていく。あるいは本当に生涯の芽吹き、種である、そういう意義深さをきちっと確認し合えるようにコラボしていく。こういったような観点でないと、組織変えたから、す

でにあるわけではなくって、未来に向けたすばらしい乳幼児期であるということをつくり合っていくということ、ぜひ放棄されないで、努力していただき、日本一の北条東こども園にしてほしいなと思っております。大きくスローガン出してもいいですよ。

大垣はすごいですよ。「父となる、母となるなら大垣市で」とかね。「子ども育てるなら大垣市で」とか。大垣市ってご存じ。知らない小さな市がJRから見えるところにばーんと貼ってあるんですよ。やっぱり情熱持ってます、熱意持ってます。兵庫県で言うと三田も割合気合入れてるんですよ。「子ども育てるなら絶対三田、教育するなら絶対三田、住むなら絶対三田、三田、三田、三田」。

今の三田市長さんが、当時知事公室にいたときにJ委員も一緒に仕事していたんです。兵庫県の認定こども園の構想をJ委員がしてくれたんですよ。そのときに森さんが上司でいて、彼は公立の専門家なんですね。彼らと一緒に県の条例をつくったんです。その下地をJ委員がつくってくれて、よし兵庫県はそれでやろうとって、非常に情熱を持っています。その森さんが三田市の市長やっています。西村市長もその辺の理解ありますので、恐らくプレッシャーかけると思います。G委員、失敗は許されんぞ。

○G委員           ありがとうございます。

○教育長           頑張ってください。

○会長             教育長も応援してあげてください。

○教育長           もちろんです。

○会長             一応、時間になりましたので、終わらしましょう。では、事務局にお返しします。

6. 閉会           次回 令和3年2月～3月の間で

了